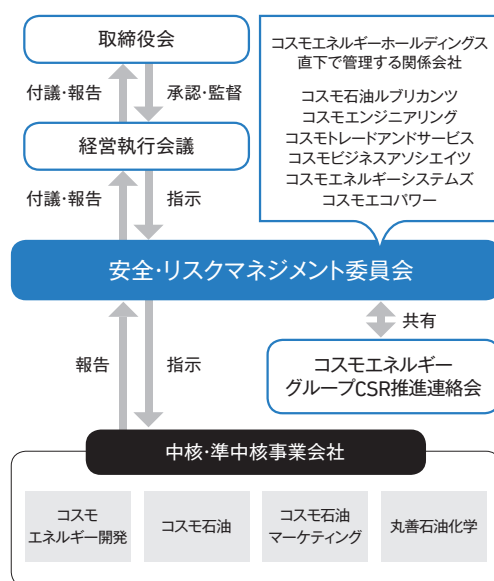


ガバナンス体制の強化

コスモエネルギーグループでは、連結中期CSR計画の重点項目として「ガバナンス体制の強化」を掲げています。本来のコーポレート・ガバナンスとは異なる観点で企業価値向上に重要な基盤として、ガバナンス項目に意図的に「リスク管理」「コンプライアンス」「CSR調達」「情報開示」を重点課題として組み入れており、これらの目標とKPIを設定してコンプライアンス体制の強化を推進していきます。

リスク管理

コスモエネルギーグループでは、エネルギーの安定供給への強い使命感のもと、「安全・リスクマネジメント委員会」を年2回開催し、グループ全体に関わるリスクや安全方針の審議、リスクへの取り組みや安全活動の進捗確認等、グループにおけるリスク及び安全管理の充実を図っています。3中核事業会社及び準中核事業会社においては、それぞれの事業内容や機能に応じて、安全やリスク管理を担う委員会を設置し、各社固有のリスクに対する取り組み状況の確認や安全施策の立案、安全活動の進捗管理を実施しています。リスクマネジメント及び安全管理活動の確認・改善を行っています。



重要リスクと対応

コスモエネルギーグループでは、連結中期CSR計画の重点項目である「リスク管理」の中で「優先取り組みリスク選定と対応の強化」をKPIとして掲げています。2018年度は、グループ全体に関わる全社リスクの選定として以下7つの課題を抽出し、着実な対応に取り組みました。

リスク	内容	2018年度の対応	評価
危機発生時のメディア訓練	社長・役員向けの実践訓練を実施	コスモ石油千葉・四日市製油所、コスモ松山石油にてメディア訓練を実施	○
グループ与信管理	コスモエネルギーグループでの与信管理の体制整備	中核・準中核・Iグループ各社にて自社の体制状況の確認・整備強化	○
知識不足に起因する法令違反の防止	知識不足による法令違反(著作権違反・ライセンス管理等)のリスク防止	企業倫理・人権研修及び、インサイダー取引に関するeラーニングを実施し、社員への周知徹底を実施	○
新型インフルエンザ等のマニュアル改正	製油所・支店・関係会社等での対応の協議・検討を実施	各グループ会社にて、重要業務設定を実施	○
地震BCPへの更なる対応	資源エネルギー庁の格付け審査で「S評価」獲得をめざす	資源エネルギー庁の審査で指摘された個別項目への対応を実施 製油所における個別訓練を実施	○
非財務情報の公開によるレピュテーションリスク回避	非財務情報を公開しないことによる、企業評価や評判低下を回避	コスモレポート・CSRサイトでの情報開示。FTSE Russel社をはじめ、各格付機関による評価、CDP等のアンケートへの対応を実施	○
品質管理に関するガバナンス強化	品質管理に関する企業不祥事が発生し、社会的信用を失墜するリスク防止	コスモエネルギーグループの製品・サービスに関する品質管理体制の強化、リスク評価の見直しを実施	○

コンプライアンス～企業倫理推進体制

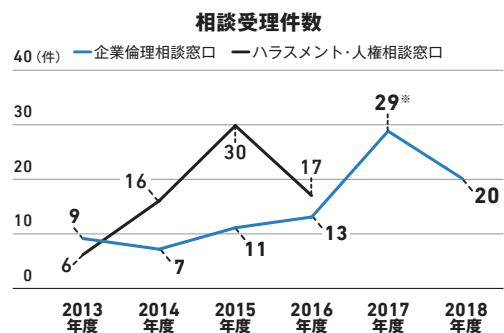
当社は、コスモエネルギーグループ企業行動指針の推進・実施・確認を行う「企業倫理・人権委員会」、その具体的な推進及び実行組織として「コスモエネルギーグループ企業倫理推進室」を設置しています。「企業倫理・人権委員会」では、社員の倫理観を高めることを目的として、グループ全社員を対象とした企業倫理研修やeラーニング等の様々な施策の立案・実施・評価をしています。

また、社員の法令違反・社規違反等の不正行為及び倫理上の問題を匿名で相談・通報できる「コスモエネルギーグループ企業倫理相談窓口（企業倫理ヘルプライン）」を企業倫理推進室内及び社外の法律事務所に設置しています。2018年度の相談受案件数は20件（不正行為6件、ハラスメント相談14件）（前年度比▲9件）となりました。

さらに、2018年度より新たにセクハラ・パワハラ等、職場の人間関係に関する相談への対応を強化するために「ハラスメント相談窓口」を社外に追加設置しました。ハラスメント・職場の人間

関係に関する相談が依然として多いことから、外部専門家によるカウンセリング効果により、メンタルヘルス不調の未然防止・自身での職場環境の早期解決を図っていきます。

相談・通報の内容と対応については、監査等委員である取締役役に報告し、コンプライアンス推進活動の継続的な改善を図っています。なお、2018年度の重大なコンプライアンス違反は0件でした。



※2017年度から社内の「ハラスメント・人権相談窓口」を廃止し、企業倫理相談窓口に統合しています。

CSR調達

当社及び3中核事業会社では、購買活動において、従来の品質、価格、納期、グリーン度評価等を総合的に判断したグリーン購入に加え、反社会的勢力を排除した取引への取り組みを推進しています。連結中期CSR計画の期間において、ESGへの取り組みを配慮したCSR調達方針を策定し、広くステークホルダーに開示する他、賛同いた

けるサプライヤーと協働することにより、持続的発展をめざします。2018年度はコスモエネルギーホールディングスにおける購買方針、及び、コスモ石油での調達ガイドライン策定の検討を進めました。今後は、業務システムの構築を進めるとともにサプライヤーへの説明も実施し、2020年度からのシステム本格運用をめざしています。

情報開示～ESG評価対応

当社は、世界の代表的なESG投資インデックスの一つである「FTSE4Good Developed Index」に2003年に日本の石油会社として初めて採用されて以来、17年連続で採用されています。

2018年度は、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）がESG投資指数として選定している「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に、3年連続で採用されています。また、損保ジャパン

日本興亜アセットマネジメント社（SNAM）がESG評価と株式価値評価を組み合わせ独自に設定する「SNAMサステナビリティ・インデックス」にも採用されました。

